

NP 再考5ーセッションの間隔について

文責 神村 富美子

ときどき、NPの間隔について質問を受けます。多くは以下のような質問です。

「これからNPを開催したいのだが～の都合で毎週火曜日にはならず、一日だけ木曜日になってしまいます。そうすると、中6日以上空く日ができてしまうのですが、それでもいいですか？」

皆さんはどう思われますか？

研修でNPの規定を学んだ時、一週間に一回と聞いているかと思えます。ではなぜ少なくとも一週間に一回は行うのでしょうか？

理由はふたつあります。ひとつはグループの発達を促すには最低でも週に一回はお会いした方が好ましいからです。二つ目は「～の都合」は、ほとんど主催者やファシリテーターの都合です（少なくとも企画の段階で質問される場合は）。NPは参加者中心型のプログラムです。参加者にとって毎回のNPが同じ曜日の場合と、違う曜日が混ざり、なおかつ間隔があいてしまう週がある場合と、どちらが好ましいでしょうか？

おそらく研修で、プログラム計画を立てる際に、皆さんも共同のファシリテーターと「何曜日なら集まりやすいかしら？」「何曜日頃に育児の疲れがでるかしら？」などと参加者の気持ちを推測されたのではないかと思います。

こうした質問ができる理由はふたつあって、主催者やファシリテーターの都合を優先したくなった場合、もしくは資料集の記述が「一週間に一回」となっているので、おおまかにとらえる方がいらっしゃることも原因かと思えます。それで一度明確化しておく必要があるかと思ってお知らせいたします。

一週間に一回というのは基本的に同じ曜日に行うということであり、もし計画段階から同じ曜日に設定できないならば、できるだけ他の曜日を選択しましょう。ただし、企画の段階ではそうしたのに、台風や大雪に見舞われ、急きょ別の曜日を確保したというような場合や、どうしても会場の都合や祭日などのためにずれてしまう場合は、1回限り、前後に一日ずれる程度にし、参加者にはしっかりと告知しましょう。なお、認定審査を受ける場合には、なるべく規定通りにできたものを提出してください。理由はスタンダードなNPの方が、グループの発達がうまくいきやすいからです。

以上のことをご確認いただき、参加者中心型のNPを心がけていきましょう。